

たんぽぽ通信

Dandelions

2023. 6

始良市立加治木幼稚園 便り

PHONE 62-2502

FAX 62-2524



夏の遊びを楽しむ

雨上がりの水たまりや砂場に裸足で入って、その感触を楽しんだり、水遊びやしゅぼん玉に挑戦したりと今月は、みんなで夏の遊びを思いっきり楽しんでいます。

プールでの水遊びは、子供たちにとって特別な体験活動だと考えます。

まず、「冷たくて、気持ちいい。」「水しぶきや波が、きらきら、ゆらゆら光ってきれい。」など、楽しさや気持ちよさ、不思議さをたくさん感じることで、豊かな感性を育むのです。

また、水の中は空気中と違って浮力があるので、普段とは違う感覚でバランスをとる必要があり、バランス感覚などの身体能力も高まっています。

水に浸かったり、浮いたりすることで、水の面白さや怖さを直接感じることもそのものも、大切な体験です。

園では、年少さんは「プールや水遊びなどの夏の遊びの楽しさを味わう。」ことをめざして、ゆっくり水に浸かったり、バタ足をしたり、ペットボトルや水鉄砲で遊びます。後始末や着替えもできるだけ自分で頑張ります。

年中さんは、「水を大胆に使ったり、プールで遊んだりして暑さの中で水の気持ちよさを味わう。」年長さんは「プール遊びに自分なりの目標をもって取り組む。」ことをめざします。年中・年長さんは大きなプールなので、ワニさん歩きやフープくぐり、何秒間浸かれるかなど、様々なことに挑みます。

どの組も、水遊びの最中は、はじけるような笑顔と嬉しそうな声で溢れています。

バタバタ…
きもちいいね！



1・2・3…



自分たちで片付ける力

先月のたんぽぽ通信で「自分で考えて行動できる力」について、片付けの呼びかけのことを紹介しましたが、6月に入り、年長（きりん）組さんだけでなく、年少（りす）組さんも年中（うさぎ）組さんも自分たちの力で片付ける力が身に付いてきました。砂場遊びをしているときのことで、「お片付けの時間だよ♪」と誰かの声が聞こえたかと思うと、一人一人が、どうすればよいか考えて動き始めたのです。そして、みんなで協力し合って、片付け終わりました。

子供が、上手に片付けできるようにするには、「片付けは、面倒でいやだ。苦痛だ。」というイメージを「片付けは、自分にも簡単にできるものだ。きれいになると気持ちいいし、楽しい。」というものに変換することが、最も大切だといわれています。園では、そのために様々な工夫をしています。

片付けの時間、年度当初は先生方が一緒に取り組みながらお手本を示していましたが、次第に手を離し、子供たちに「任せる」「見守る」姿勢を大切にしてきました。行動原理学のナッジ理論に基づき、どのかごに何を入れるのか、実際の写真をかごに貼り付けて、視覚に訴えることもしています。

「さっさと片付けなさい。」と注意したり、細かい片付け方のルールを決めたりするのは逆効果で、片付けなくなるといわれています。

整理整頓は心理的効果、計画性や段取り力などにもつながる大切なもの。当たり前ができるよう、今後とも取り組んでいきます。

